

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業【コミュニティセンターとの連携事業】
「やさしい切り絵教室」を開催しました。

平成26年11月13日（木）、切り絵作家で古高松南・国分寺南部コミュニティセンター一の講師としてご活躍中の萩原幹生さんを講師に迎え、切り絵の作成方法についてご指導いただきました。

受講生のほとんどが切り絵は初体験でしたが、萩原さんの体験談や丁寧な説明を聞いた後、わくわくしながら作成開始。講座の課題作品は、来年の干支・羊の切り絵です。



＜作成に必要な準備物＞

- ・カッターナイフ（曲線も切りやすいアートナイフ）
- ・カッターシート
- ・黒画用紙
- ・色紙（彩色用の色紙）
- ・色紙（切り絵を貼り付ける台紙）
- ・スプレーのり

＜切り絵のできるまで＞



- ① 原画を描く（※講座では講師が作成したものを使用）
鉛筆で構図を描き、マジック又は墨を使用して、残したい線をえどったのち、影をつける。
- ② 黒の画用紙に原画を重ね置き、ホッチキスで止めたのち、原画に添ってカッターナイフで切っていく。
- ③ 切り上がった絵の裏からスプレーのりを吹き付け、少し時間をおいたのち、付けたい色の色紙を貼っていく。
- ④ 最後に裏から全体にスプレーのりを吹き付け、色紙に貼り付けて完成

受講生の皆さんは、曲線を上手く切る方法や細部の仕上げ方、色の合わせ方など、講師の細やかな実技指導を受けながら、それぞれのペースで作品を作成しており、同じ原画でも、個々の切り方や色使いの違いから個性豊かな羊が誕生しました。

